

# 要請書にたいする 県からの回答文書

今年三月、県に提出した全国統一要請書に對して、今月送られてきた県からの回答(概略)を紹介します。

## 【要請】

防災・生活・環境優先の公共事業の拡大を。

## 【回答】

昨年五月に道路老朽化対策を目的とした「栃木県道路メンテナンス会議」を設立。対策を推進していく。

## 【要請】

住宅リフォーム助成制度など、地元中小業者、建設労働者の仕事おこし雇用確保を。

## 【回答】

耐震改修工事について、市町と連携し補助をしており、引き続き実施していく。

## 【要請】

公契約条例の制定など適正な賃金・労働条件の確保を。

## 【回答】

適正価格による契約など公正かつ適正な契約制度の運用に努め、国の動きや、公契約条例に係る他県の動向を注視していく。

労働相談の実施により労働関係法令の理解と周知に努める。社会保険未加入対策については本年四月から本格的に取り組んでいる。

## 【要請】

引き続きダンピング防止等の推進に努める。

## 【要請】

下請単価やトラック運賃の適正化にむけ関係機関と連携し具体的な対策を。

## 【回答】

県産業振興センターを通して取引に関する苦情・紛争等の相談に応じる。国や同センターに設置された「下請けかけこみ寺」と連携し公正な取引に努める。

## 【要請】

運輸職場での「過労死」根絶に向けて関係機関との連携強化を。

## 【回答】

今年一月、栃木労働局、県、宇都宮市は「働き方改革」推進本部を設置、県トラック協会も含め「働き方改革」等に向けた協力要請を行っている。

## 【要請】

学童保育制度の充実

のため、指導員研修の充実を。

## 【回答】

本年四月から制度化された「放課後児童支援員」認定資格研修について平成三十一年度までに適切に受講できるように努めていく。

## 【要請】

じん肺防止と補償の拡充を。

## 【回答】

県議会において「トネルじん肺根絶に向けた抜本的な対策を求めた」とも、各種施策を推進する。

## 建交労とちぎ短信

「労働法制改善ストッブ！市民集会」

日時 七月四日(土) 午後二時

場所 栃木県弁護士会四階ホール

県労連夏期合宿

日時 七月一〇日(金)午後六時～十一日(土)

場所 宇都宮市コンセーレ

一日目は夕食交流会

二日目講演学習等

「今すぐ原発ゼロへ」

日時 七月十八日(土)午後二時

場所 とちぎ健康の森講堂

合材委員会統一行動

日時 七月三十日(火) 六月三十日(火)

協和団体交渉

日時 七月二日(木)

場所 石灰会館

関東地整キャラバン

日時 七月十七日(金) 午後一時三十分

ダンブ支部執行委員会

日時 七月十八日(土) 八月一日(土)

菅谷裁判(宇都宮地裁)

日時 八月三日(月) 八月四日(火)

## 組合員紹介

### 瓦職人 亀田修二さん

## 日本瓦の伝統を守りたい

亀田修二さん(佐野市)は職歴三〇年以上のベテラン瓦職人です。

「瓦工事は大地震のたびに工法が変わっています。一番大きく変わったのは、阪神大震災の後です。耐震化、軽量化の流れですね。昔は漆喰専門の職人もいたんですよ。」

「金釘(きんさくぎ)という特殊な釘を使うんですが、落下防止の工法が普及してきました。その分昔から

息子が二人います。下の子はまだ高校生だけどたまに仕事を手伝ってくれたりします。上の子はダメ

高い所が苦手だから(笑い)。

「一時仕事が激減したところ、東日本大震災が発生して修理依頼が急増します。軽い洋瓦が主流になり、日本瓦を組める職人はいつのまにか少数派になっていくのです。」

しかし、震災需要に便乗した新規参入業者が、低単価で手抜き工事を行い問題



職人の手と道具。特注の金槌と鑿(たがね)に使用しているのは超合金「タンガロイ」。日本瓦の特性にあった特殊合金を貼り付けています。

屋根の上で作業する亀田さん。何かカッコイイ！

衆議院で労働者派遣法の改善が强行採決されました(六月十九日)。日本人の働き方を大きく変える大改善です。「生涯派遣」が当たり前前の社会にしないために、ますます労働組合の役割が重要です。